

■CI-NET相互運用試験チェックシート①

○対象業務：●●業務

○記載例

発注企業： システム名称：		株式会社○○○○ CIXXX		⇔	受注企業： システム名称：		株式会社□□□ WEBxxx	
------------------	--	-------------------	--	---	------------------	--	-------------------	--

No.	工程	確認日	チェック	アクション	メッセージ種類	方向	メッセージ種類	アクション	チェック	確認日	備考
1	[確定注文]の送信	06/22	○	送信	確定注文メッセージ	→	確定注文メッセージ	受信	○	06/22	
2	受信確認の受信	06/22	○	受信	確定注文メッセージ	←	確定注文メッセージ	送信	○	06/22	
3	[注文請け]の送信	06/22	○	受信	注文請けメッセージ	←	注文請けメッセージ	送信	○	06/22	
4	受信確認の受信	06/22	○	送信	注文請けメッセージ	→	注文請けメッセージ	受信	○	06/22	
5	[確定注文]原本確認	—	—	確認	—	—	—	確認	○	06/22	
6	[注文請け]原本確認	06/22	○	確認	—	—	—	確認	—	—	

○確定注文・注文請けメッセージ

発注企業： システム名称：				⇔	受注企業： システム名称：			
------------------	--	--	--	---	------------------	--	--	--

No.	工程	確認日	チェック	アクション	メッセージ種類	方向	メッセージ種類	アクション	チェック	確認日	備考
1	[確定注文]の送信			送信	確定注文メッセージ	→	確定注文メッセージ	受信			
2	受信確認の受信			受信	確定注文メッセージ	←	確定注文メッセージ	送信			
3	[注文請け]の送信			受信	注文請けメッセージ	←	注文請けメッセージ	送信			
4	受信確認の受信			送信	注文請けメッセージ	→	注文請けメッセージ	受信			
5	[確定注文]原本確認	—	—	確認	—	—	—	確認			
6	[注文請け]原本確認			確認	—	—	—	確認	—	—	

■CI-NET相互運用試験チェックシート

業務フローとの対応	項目名	CIIメッセージグループ・ヘッダ				
		シーケンス	C05	C06	C08	C09
		名称	発信センターコード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	発信者コード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	受信センターコード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	受信者コード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))

(記載例) 注文業務：取引を特定するデータ項目のチェックリスト

①	確定注文メッセージ		規約				
			セット内容				
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 : 直接連絡	規約	—	—	—	—
			セット内容	—	—	—	—
		ケース2 : 発⇄ASP⇄受	規約	—	受注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	発注者の標準企業コード
			セット内容	—	502505887766 : 推進鉄筋工事株式会社	2000000000001 : 基金ASPサービス株式会社	502505006500 : 振興建設株式会社
		ケース3 : 発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約		受注者の標準企業コード	ASP業者Y社の標準企業コード	発注者の標準企業コード
			セット内容		502505887766 : 推進鉄筋工事株式会社	2000000000002 : 振興ASPサービス株式会社	502505006500 : 振興建設株式会社
③	注文請けメッセージ		規約				
			セット内容				
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 : 直接連絡	規約	—	—	—	—
			セット内容	—	—	—	—
		ケース2 : 発⇄ASP⇄受	規約	—	発注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	受注者の標準企業コード
			セット内容	—	502505006500 : 振興建設株式会社	2000000000000 : 基金ASPサービス株式会社	502505887766 : 推進鉄筋工事株式会社
		ケース3 : 発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約		発注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	受注者の標準企業コード
			セット内容		502505006500 : 振興建設株式会社	2000000000000 : 基金ASPサービス株式会社	502505887766 : 推進鉄筋工事株式会社
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		規約				
			セット内容				
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		規約				
			セット内容				

■CI-NET相互運用試

業務フローとの対応	項目名	CI-NETメッセージ						
		コードNo	1	2	4	5	1006	1007
		名称	データ処理No.	情報区分コード	発注者コード	受注者コード	工事コード	帳票No.
		定義	受信者での受信データの処理順序を示す番号・受信者は、受信データをこの番号の昇順に処理すること	情報の種類を示すコード	注文を行う側の企業およびその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	注文を受ける側の企業およびその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	工事場所、受渡し場所、原価管理上の区分などを示すコード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	帳票の番号

(記載例) 注文業務：取

①	確定注文メッセージ		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	発注者が採番する番号	発注者が採番する個別の注文業務の管理番号	
			セット内容	1	0502	502505006500 :振興建設株式会社	502505887766 :推進鉄筋工事株式会社	t00-0506-002 :財団法人建設業振興基金別館新築工事第2期工事	tky2002-0736 :鉄筋加工組み立て	
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約							
			セット内容							
		ケース2 :発⇄ASP⇄受	規約							
			セット内容							
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約							
			セット内容							
③	注文請けメッセージ		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	確定注文メッセージの番号	請書番号は受注者が発番する番号	
			セット内容	1	0506	502505006500 :振興建設株式会社	502505887766 :推進鉄筋工事株式会社	t00-0506-002 :財団法人建設業振興基金別館新築工事第2期工事	m-ktky-0381 :鉄筋加工組み立て	
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約							
			セット内容							
		ケース2 :発⇄ASP⇄受	規約							
			セット内容							
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約							
			セット内容							
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	発注者が採番する番号	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	
			セット内容	1	0502	502505006500 :振興建設株式会社	502505887766 :推進鉄筋工事株式会社	t00-0506-002 :財団法人建設業振興基金別館新築工事第2期工事	tky2002-0736 :鉄筋加工組み立て	
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	確定注文メッセージの番号	請書番号は受注者が発番する番号	
			セット内容	1	0506	502505006500 :振興建設株式会社	502505887766 :推進鉄筋工事株式会社	t00-0506-002 :財団法人建設業振興基金別館新築工事第2期工事	m-ktky-0381 :鉄筋加工組み立て	

■CI-NET相互運用試

業務フローとの対応	項目名						判定	
		1008	1009	1010	1300	1301		
		帳票年月日	参照帳票No.	参照帳票年月日	注文番号枝番	参照帳票No.2(見積依頼番号)	○or ×	不整合のコードNo (×の場合のみ)
		帳票に記載する年月日・例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を表す	注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票の番号	注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票に記載された年月日	注文番号の枝番号追加工事等の際、元工事との関係を示すために注文番号は元工事と同一とし、注文番号枝番を付与することで元工事と識別するために使用する	取引を特定するために補助的に参照する帳票の番号		

(記載例) 注文業務：取

①	確定注文メッセージ		注文した年月日	—	—	注文番号枝番	見積依頼番号	○	
			20020325	—	—	なし			
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡						対象外	
		ケース2 :発⇄ASP⇄受						対象外	
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受						○	
③	注文請けメッセージ		注文を請けた年月日	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	注文した年月日	注文番号枝番	見積依頼番号	×	1300 : 注文番号枝番が不適切
			20020325	tky2002-0736 :鉄筋加工組み立て	20020927	なし			
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡						対象外	
		ケース2 :発⇄ASP⇄受						対象外	
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受						×	C09 : 受注者の標準企業コードが不適切
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		注文した年月日	—	—	注文番号枝番	見積依頼番号	○	
			20020325	—	—	なし			
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		注文を請けた年月日	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	注文した年月日	注文番号枝番	見積依頼番号	○	
			20020325	tky2002-0736 :鉄筋加工組み立て	20020927	なし			

業務フローとの対応	項目名	CIIメッセージグループ・ヘッダ				
		シーケンス	C05	C06	C08	C09
		名称	発信センターコード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	発信者コード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	受信センターコード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))	受信者コード(標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁))

注文業務：取引を特定するデータ項目のチェックリスト

①	確定注文メッセージ		規約				
			セット内容				
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約	—	—	—	—
			セット内容	—	—	—	—
		ケース2 :発⇄ASP⇄受	規約	—	受注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	発注者の標準企業コード
			セット内容	—			
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約		受注者の標準企業コード	ASP業者Y社の標準企業コード	発注者の標準企業コード
			セット内容				
③	注文請けメッセージ		規約				
			セット内容				
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約	—	—	—	—
			セット内容	—	—	—	—
		ケース2 :発⇄ASP⇄受	規約	—	発注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	受注者の標準企業コード
			セット内容	—			
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受	規約		発注者の標準企業コード	ASP業者X社の標準企業コード	受注者の標準企業コード
			セット内容				
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		規約				
			セット内容				
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		規約				
			セット内容				

業務フローとの対応	項目名	CI-NETメッセージ						
		コードNo	1	2	4	5	1006	1007
		名称	データ処理No.	情報区分コード	発注者コード	受注者コード	工事コード	帳票No.
		定義	受信者での受信データの処理順序を示す番号・受信者は、受信データはこの番号の昇順に処理すること	情報の種類を示すコード	注文を行う側の企業およびその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	注文を受ける側の企業およびその事業所・担当部署・作業所などを示す標準企業コード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	工事場所、受渡し場所、原価管理上の区分などを示すコード(企業識別コード6桁+枝番6桁)	帳票の番号

注文業務：取引を特定す

①	確定注文メッセージ		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	発注者が採番する番号	発注者が採番する個別の注文業務の管理番号	
			セット内容							
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約							
			セット内容							
		ケース2 :発⇔ASP⇔受	規約							
			セット内容							
		ケース3 :発⇔ASP⇔ASP⇔受	規約							
			セット内容							
③	注文請けメッセージ		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	確定注文メッセージの番号	請書番号は受注者が発番する番号	
			セット内容							
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡	規約							
			セット内容							
		ケース2 :発⇔ASP⇔受	規約							
			セット内容							
		ケース3 :発⇔ASP⇔ASP⇔受	規約							
			セット内容							
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	発注者が採番する番号	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	
			セット内容							
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		規約	連番	メッセージ機能の種類ごとに固有の情報区分コード	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	標準企業コード (企業識別コード6桁+枝番6桁)	確定注文メッセージの番号	請書番号は受注者が発番する番号	
			セット内容							

業務フローとの対応	項目名						判定	
		1008	1009	1010	1300	1301		
		帳票年月日	参照帳票No.	参照帳票年月日	注文番号枝番	参照帳票No.2(見積依頼番号)	○or ×	不整合のコード No (×の場合のみ)
		帳票に記載する年月日・例として、見積依頼メッセージにおいては見積を依頼した年月日を、見積回答メッセージにおいては見積を回答した年月日を表す	注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票の番号	注文番号・契約番号など、取引を特定するための参照帳票に記載された年月日	注文番号の枝番号追加工事等の際、元工事との関係を示すために注文番号は元工事と同一とし、注文番号枝番を付与することで元工事と識別するために使用する	取引を特定するために補助的に参照する帳票の番号		

注文業務：取引を特定す

①	確定注文メッセージ		注文した年月日	—	—	注文番号枝番	見積依頼番号		
				—	—				
②	確定注文メッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡							
		ケース2 :発⇄ASP⇄受							
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受							
③	注文請けメッセージ		注文を請けた年月日	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	注文した年月日	注文番号枝番	見積依頼番号		
④	注文請けメッセージの受信確認 ※該当ケースを選択してチェック	ケース1 :直接連絡							
		ケース2 :発⇄ASP⇄受							
		ケース3 :発⇄ASP⇄ASP⇄受							
⑤	”確定注文メッセージ” 原本確認		注文した年月日	—	—	注文番号枝番	見積依頼番号		
				—	—				
⑥	”注文請けメッセージ” 原本確認		注文を請けた年月日	発注者が採番して受注者に通知した注文番号	注文した年月日	注文番号枝番	見積依頼番号		